

04

里好

デス魔トピア





Action Comics

# デイス魔トピア

everyone is watching you.

Published by COMICS 2012

里好 04

もの



Everyone is watching you.

## CONTENTS

第十一章 玩人黑客 021

第十二章 玩中樞兩(1) 027

第十三章 玩中樞兩(2) 033

第十四章 玩中樞兩(3) 039

第十五章 玩子(1) 045

第十六章 玩子(2) 051



第十九話  
おとこたちと女たち  
兇人黒客

レイラの  
出会いが  
発端だ













同じこの家に  
住むかって？

俺さーや  
家出中さー

キツト聞して  
一番奥の食いそうを  
盗んち来たんだと  
聞かされたさー

だからって  
盗みかい盗まへ  
の手におくわけ  
にはいかないよ

行方不明無け  
ばさるからー

俺  
いまい人間なんだ



親から逃げて  
住居面から何から  
盗しちやっか

毎日わどい事  
まかづにさ

お互い  
アウトサイダー  
じゃん



マヒト君  
俺な  
見た面ほど  
がキリやない  
んだぜ？

主に経験値的に



こんな俺たちが  
頼んだら

きつと嬉しいこと  
なでさんでさるわ  
おもしろんだ

















どうやらいかに  
……ですな

マビト君  
彼が其の身体  
知らないとか  
思ってた



まー確かに  
誰一人じゃあ  
無理だったな

その点  
マビト君には  
感謝して取り  
ますよ



君はハマキーンして  
先鋒をたててる  
よりだね

末廣は国の大

元官儀

国家権力の  
はねつかえりを  
つかがって  
彼らのための  
情報操作をして  
お金をもらってる



今頃僕が  
やっかことを  
週にして  
ももらった  
こと

ちよつと  
見てみる？



今回の作戦には  
必勝不可欠だったよ  
ありがとね

でもそれが  
俺にとつて  
肝要だった  
君の名前  
君の情熱  
君の強い意  
運命の機軸





「マヒト君  
さあ」

人を困ったこと  
ないから

「マヒト」

「マヒト」

なんでやる方が  
先にダウン  
しちゃうんだよ

「マヒト」

「マヒト」

腰抜けだなあ  
マヒト君は

実は  
僕もさ

ウイルス入りの  
子供産んで  
みたんだよわ

これで発症したら

まじでうけるわ

何でー

いつたい何が  
したいんだ！

彼女の体は

運の…

これが俺

彼女の能力や  
巨大な自肌を  
入れる器として

更に能力で  
防御した

何なんだ  
お前はっ

随ておやいた  
んだわ！

それで別の  
世界に行きたい

いつかのや  
その体のくひきや  
傷口を開放したらを  
開いていた…

彼女は死んでた







ただ聞いただけ  
無事となるように  
しくまれています

一度確認すると  
奥面に排水栓が  
埋まっています



この排水栓を  
床から除去する  
ことはできません



警備員の体は  
治療のしよう  
ないですね

生きながらにも  
運があるのなら  
アタマの移植

ロボットを使った  
脳移植手術で大腸を  
すげかえるんです



ただ移植するにしても  
患者数が多い上  
感染を助けた人が  
少いのでかかるね  
けアタマの盗りまさん

機械はアタマだけで  
思考していくような  
方向が絶望的ですよ



そんなことが  
可能なんですか？

病気の蔓延で  
国からの手厚は  
危ない位

倫理もふつとばして  
研究できますから  
この分野はいつかに  
進歩しますよ

なるほど

レイコ  
オーダー通りの  
器というところか









大抵言うのは  
初めてですね  
レイコ

おかげさまで  
貴方の計画通り  
機能的な場所に  
入れましたよ



体面つてるつてを

命財をこと  
するなよ  
サカシタ

何を言っ  
てますか

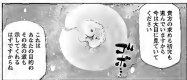
そもそも  
私が貴方に  
協力したのは  
この研究をする  
ためだったん  
ですからね！



あなたの目的は  
人を体の脱離から  
解き放つこと



私の目的は  
体を脳の脱離から  
解き放つこと



貴方の求める状況も  
悪んでいきますから  
今は大目に見ていて  
ください

サカシタ

これは  
あなたの目的の  
その先の道も  
決して与える  
はずですからね

その先へ進め



マサとアラヤと  
生つけました  
いやあ  
無頼人とは  
面白い



そのうら  
我々の知らない  
「新世界」でも手に  
入れそうかいです



もう神羅が  
ないんです



完成体を作らないとね

人の世を助るもの  
大敵の「新しい国」  
だけをこの世に繁殖  
させてあります  
その体を持つ大敵  
とては神羅の親戚が  
現れましてね

もう体が持たない

レイコ

すぎないが  
手ぬるけわせて  
もらう

体が壊れる時まで  
眠り続けて  
しまおう  
我慢してくれ

だから体は  
いらないうて  
置かせてるんだ

こんなにあるまで  
じらしやがってー

それよりこれを  
僕の胸につないで

ちゃんときつめて  
フィードバック  
させてくれよ

俺もたくしただけになった人が  
執拗に襲ってくる世界が  
この世に作ってあるんだ！

ザリ

ザリ

ザリ

ザリ

お前はそうだな……

キズナとア……かな

レイコは眠りかけの  
存在だから













お前が  
結果を出せると  
言ったからだが  
なのに  
なんという  
ざまだが

私がなんで  
お前を代表に  
すえたと思うけ



レイコは  
エナとヤヤコに  
向うの扉を壊せ

悪魔人に勝てる  
研究設備とデータをも  
打ちこわし

前向きにしていた  
壁の中へと潜りこ  
いった



果てまでが  
病人家族などと  
愛憎される始末だ

病室は  
金食い虫

お前が病室で  
のたくつてる  
間に



国が崩壊してる時に  
死にゆく君に金を  
かけるなど言う

自分らがいつ  
そうなるかも  
わからぬのにな

それともこれも  
貴族らが手裏に  
見合つた結果を  
出せぬいからが

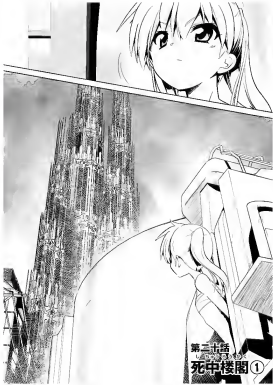




——そして人狩りが始まった







第三十話

死に舞う少女

死中樓閣①













全員  
集まったけ  
裏の  
下木まで  
行くわよが



ウわあ!!

安心武装



















あははは  
面白い子

でも  
貴方の相手なら  
こいつらで十分

やっておしまい!!







先代代官の邸宅

壁から  
離れると

作んのも  
通ったかーか



画像が  
粗えんだよ

コルア!!



壁の外へ逃げてみて  
ようやうめかつたぞ

壁の外の壁壁も...



ササザン叩でも  
カンの音えには  
一軒屋やれててよ

知田なんや  
おかし  
おかし  
思ってたの上



壁の中での生活は  
通れぬだらけよ

それが彼等のか  
ずーっと隠して来た





茶番以下だぜ



いいか

よく  
覚えとけ

血内の通わぬえ  
絆なんてな



DELETE.....













第三十話 END



だってそれは

エナにエナをあげる  
ようなものだから

おんエリカ  
船を連れて行って

あのまはす  
ヤヤコを助けて  
いるの……

あの子に  
エナをあげ  
てあげた

もう  
おんを助ける  
はたけだ

第三十一話

死中樓閣②



おー  
なんかスゲー  
男子いいわ

女子供相手は  
剣がむけるけど

まーいーや

食つちやがう



あとはお前  
だけだぞ

アサギと  
違って  
面白い子

いいわ

相手して  
あげる

ちなみに――

私は女子供  
相手のほうか  
敵型ださる  
タイプ

なのよ

ねっ







誰なんかにゃねえっ

私が喰いたいの

ガッ

ガッ



いいやー

きらいじゃ  
ないわ

こらゆうの

それは残念

お前まじーよ

悪女が食べたのは

私の首じゃなくて

あなたの  
首なのに

!?





なにもない...

はあ

はあ



いや

まっくらじゃないか...?

ウ

ウ

ウ

ウ

ウ



ぐはっ



あつけないのね

もう一人は  
もったいない  
かったわねー



きて

どう思っています——



使わせて  
もらって

マヒトがエサを減力化した  
キオンダイー濃縮がスエ







ユリ……カ？

その子は  
平瀬で溺れ  
入れた替え  
られたの



マナは  
何人もの人を騙って  
貴方たちと戦わせたの



そうするように  
しくまれていた



ハリタイはこのマナに  
縋らなで貴方たちと戦った

自分が死んだ際は  
自分の体を犠牲のために  
使うように身体を洗って

私たちは  
「出来損ない」

や……や……

私は貴方の  
失敗作

この子は  
この母を捨てて  
あんなにも可愛く  
成長した母を捨てたいと  
思っていた

人形をすれば  
それが与えられると  
思われていたの

この子は  
エナの  
失敗作

何故ってんのか  
わかんねーよ

誰なんだよ  
お前



貴方がエナを  
殺したのだひ

エナがどうなん  
太さくなるのを  
感じたわ

あいつらは  
人を殺って  
人を喰って  
太さくなるの

アラヤ  
お前が

そして私達は  
あの子達の事象に  
さあさあだつて

私は  
貴方とサビトを  
止めようとした

でも貴方たちは  
私の言う事を聞かず  
私を拘束した

結果 エナは囚わ  
太さなモノになって  
しまった...

さつと私たちを  
拘束しに走るわ

でも  
ある人が私に  
ささやいたの

こうすれば  
エナに謝罪する  
ことができるって





いやっ

アラヤあ

ああ

貴方にこの力を  
食べさせて

私がその貴方を  
食べるーそう  
言われたのよ

あなた  
どんどん大きく  
なっているわ

いやっ  
怖い！

かわいいそうなんです

貴方はこんな  
体に入れられて

いつも完全に  
なりたがって  
いた

だから

私といっしょになって

あ

完全になりませう

いただきます

なんだ  
これは

クレイコは知人の間に  
施設を事前の察を入る

自分を誰は  
逃けたはず

いや、その前に

いくらなんでも  
騙さない人間が  
悪意をもって  
助くるだー

悪意にー

現実じゃ  
ないから  
じゃない？

おひさし  
プリプリ

マビトくん

なんつてっ

うわっうわっ











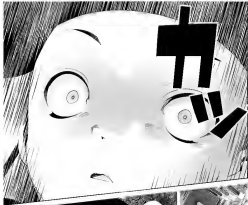
これは  
キサンタイ

原材料は  
福みそです



そしてこれをー

エナに食べさせるぞ









「おー  
おもうん  
みだいに  
素晴らしい」



「はっ」

「ああー  
すごいわ  
マナ」



「マナが  
まわってきた」

「理雄が  
飛びそう」



「でも  
見えてきたわ」

「ああ  
そうなんだわ」



死中樓閣③

早く

エナの所に


行かないと

ゴッ

あの子を  
食べたら

獣はどこまで  
イけるのかしら





なんでそんな状態で

動いている…!!

















なあ、アタマがー

私は自分の記憶が  
どこからどこまで  
本当に自分の現実  
だと思ってる？

だいたいさ  
オシオミを聞かせた  
アタマがーで

黒いオヤジの面  
板がどこまでくるんだ  
とんちやノベだつたの



アタマー

アタマがー

オシオミの  
オシオミを聞かせた

オシオミの記憶に  
照らされて

人知りのオシオミ  
の記憶に照らされて

オシオミがオシオミ  
の記憶に照らされて



オシオミの記憶を  
照らすオシオミ

オシオミの記憶を  
照らすオシオミ



オシオミの記憶を  
照らすオシオミ

オシオミの記憶を  
照らすオシオミ



その中で人は  
無意識的な  
行動を常に  
繰り返している

本来この世界は  
現在にあるのだろうか

ホットの肉こう例に  
いる人はそもそも  
胃腸をみてないん  
じゃないか



今や多くの人の心と胃が  
広大な社会が情報としての  
空間を流れていく世界だ



人は高度な  
ネットワークを  
手にあれた



そんな世界が  
ホットニアで  
繋がった瞬間の  
瞬間に人間的な  
というしよにあって  
「人間」を定義する  
というこの世界

なかまが集団的で  
居たかったよ



向こう側にいるのが  
マイクシヨンの存在  
に感じるからこそ  
他者性になったり  
絆断したりする

そのく世界は  
常に向こう側から  
来ている  
もんだから  
断絶に  
陥らされる

オレの作った  
回路も断絶して  
つながりた  
おめたいにぬ





エナ!!



誰だてめえ!!

きー…誰なんだ  
どうも ホント



サーササレマと  
おひつりおひつり



しかし  
いけないなあ  
ササレマ  
おひつりおひつり  
おひつりおひつり

きー…誰なんだ  
どうも ホント

なんだと!!



エナが  
どうもホントは  
このホントで  
隠れるという

ほーい、いっしょに遊  
エナちゃんをたのびの  
レイコちゃんですーす

エナ、おはよう  
どうもおはよう

すけとと遊んで  
おにはもうお別れが  
見えてるからねー

この世界は  
働き物とが  
可憐な世界

私たちが  
大きくおれは  
なるほど  
それができる

これは  
ボクたちが  
大きくなるための  
卵取りゲーム

ボクがこの子に  
取られて

最後にはヤツが  
卵取りするゲーム

あなたがそう  
してくんだ





実際  
そうなんだよ

どうも



でもそれが  
実際ではなく

「異世界」  
だからだよ



実際、男が外に出るまで  
別の別の世界というのは  
多くの記憶の中にしか  
存在しなかったんだぜ

外へ出て観測して  
初めて世界が作られた



ヤサコ、男は  
この世の中という  
世界に設定された  
キャラクターだ

夢見フレイヤーは数千人程度  
他の人間は全てNPCと見なされ

そして君たちは  
人殺りと称される人  
人殺りを指す言葉  
という役をふられて  
ゲームをしている

存在したのは  
君が見てた  
地図のみ

壁と塔への道  
客の内閣くらい



それが  
君の世界







アキとアキ



君の夢の夢では

オレと君は  
両方にかかった人を  
騙だけの人にして

その夢を  
キアトワークで  
騙いで

キアトワークを  
作ったとね



実はオレたち自身も  
そうゆう世界の住人にな  
っているんだとしたら

夢は現実を模倣する



夢の夢と聞くと  
オレたちは  
何らかの理由で  
アキだけの存在  
になつていて

アキが夢点になる  
キアトワーク上に  
構築された仮想世界に  
存在しているんじゃないか  
そう思案しよう

オレらは  
それを模倣する  
手段を考えたぞい



でも否定する  
手段がある  
この現実が  
情報として  
書き換え可能

そこを見ればいい





そして  
エナたちには  
届かない



プレイヤー同士  
対峙して戦うと  
瞬時に敗れてた  
瞬間を消されてた

その瞬間はね  
消滅されて  
キケンデューに  
巻き込まれて

エナたちに  
みえもあて  
いたんだよ



人殺り  
あれは野郎はちうも  
勝つてあるはちうも  
消滅する人間が  
プレイヤーに  
なるんだ



この世界が  
脳を基盤として  
構築されたネットワーク  
だとして見てみよう



考えろ

これは何の  
意味だ？



ネットワーク上に誕生した  
実体のない何かが  
各拠点を繋ぎあがゲームの  
ように駆け込みながら  
膨張している…

オレは平う  
寝家している

願望はたこいらもた

エナ!

おマツマツに  
お涙をかける

この世界の現実を  
いいように変えやがる

面白いじゃん

ちくしょう  
やめる!!

エナ!!

ならどんだん  
こいつらを育てて

大きくして

お互い  
噛み合わせて  
一つにして

この世界を<sup>おま</sup>握るほどの  
存在にしてやるうぜ

全滅



この世界が  
奪られた後なら

この世界には  
別の世界である  
土地場所がある

—ハイハイ—

アアコ

高みから観測してる  
彼らがいるはず



出典上がったお前なら  
外にアクセスすることも  
できるはずだ

そろそろや

この世界の奥を  
あかすことが  
できる—！

第二十二話 END





そこには  
やまがひいて

も

車たちは  
はじめからずっと  
一緒にいた気がする

第三十三話

孩子①







おいしいわ…

ああ

おいでい…



あなたを  
食べるほど

わたしが  
戻がつて  
いくわ…

ねえ  
あなたにも  
わかるでしょ？

これが世界…

みんなが  
見てるわ…

ボウが食われ  
とりこまれていく

この世界に  
現実感はない

そもそもボウは  
どこから来たの  
かな

自分めはじまりを  
知っている人だ  
いはい

ボウの記憶は  
フリーレンの体をもつに  
意識を放出するところ  
から開始になる

でもその記憶はウソ

もっと別の  
経緯があった  
男がする

サヤはロザリを助けるため

ずっと  
一躍だった

ああ

ボウにはこれで  
十分なんだ

これにだけは  
血肉の通った  
愛がある

ボウが長男の  
ヤヤコを助けるんだ  
わががいて

ボウはそれを隠して  
ボウを愛する

それなのにボウは存在し  
世界はあるんだ

それが解  
なんだろう

だからきくと  
ボウはボウに  
いるんだ

ヤヤコ

ああああ

ああああ



だからヤヤコ

君は悲しむ  
必要はない



この世界は  
人が存在するし  
また存在しない  
インデキスなものを

君は存在する人を助め  
新しい世界に生まれ出る  
君ちゃん！つまりは君が

ボクはそのための助産  
—助産—ではない



花



だからボクは  
君を残す  
選択をした



君さえいれば  
ボクはボクで  
いられるんだ



だからー

ブ

100







あのルートは  
今確定した  
僕は近い将来  
この世界での  
万能性を証明する

おー……  
面白  
空の

その万能性は  
全果においての過半  
つまり今の事業すら  
自由にできる万能性だ

さあヤヤコ  
今の君なら  
奴にも手が  
届くはず



どんどん  
広がって

飲み込ん  
じまえ





隠取りゲームの  
騙をしよう



一つのキャラに  
金での勝を  
とらせたい

でも勝を  
とることに  
エターが勝て  
懸ける



こういつた場合  
どうする？

コビール作って  
それに勝を  
ひらわせて



お互い太宰を  
させあつて

勝手に  
照しておいた一番  
きれいな顔に隠取り  
させればいい

つまり勝たみたいを  
コビール作って  
お互い金貸いせ  
させるんだよ

君らはタラシミン

++ ++ ++ ++ ++

相手のための賭夜

勝ちやんを  
言ひための  
陰謀さ

来た来た

一番こわいのが

++ ++ ++ ++ ++











あめ...  
置れば  
私がとて...お前を助けて

本家の人として  
生まれることが  
できるって...

あめ...  
同じくあなた



大  
事  
な  
事  
件











最終話

35 孩子 ②

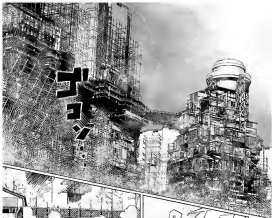
ゴッゴッ

ゴッゴッ...

ゴッゴッ



























お前達にこそおれ  
達が絶望的に  
たまるくまうた  
今の道の材料

気付きの加賀

おのれも  
人知れず  
便利だったん  
だけどさー

これを助成で  
やってくれて  
いたからさー

なくたって堪えー

そんなの

もう必要  
ないだろ

ふふ……

ま  
そのヤモウ  
だよわ

オレの目的はこの世にこのびを  
牛タンデューという給で  
一人に集めて

世界の覇をあたす  
事ができる  
置きたい存在を  
作るというのだ

その目的は  
もう達せられ  
たんだからぬ

君には見えて  
いるだろうさ

目の前に  
そびえる

上に舞へ  
階段が…

くさくさ  
腐くさくさ

腐は昨日あつた  
どの程度が腐れたか  
思っている！

もしかして

でっかい赤ちゃんに  
両大股身して  
オシキヤーなんて  
馬鹿な話

まるつきり  
信じてる！

おれらの経験に  
関係なんてもの  
ありやうないんだ

腐れいじりだしは嫌が  
アレバが腐あしたの腐か

いやそれも  
知覚を得た後からの  
腐めなのか

知覚たのみの  
おれらの世界は  
あやふやなんだ

特にこの世界は  
確実にインキキだ

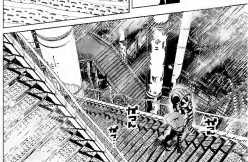
おれみたいなお嬢様が  
いるくらいだからね

上にもしくは  
外側がある  
世界なんだよ

キズナトビデ  
ふたいにね

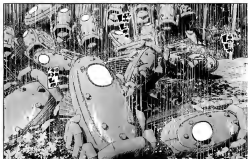
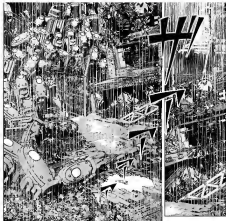


















今は現実を  
認識する

おじいさんの夢の中の世界で  
同じようなことが  
現実でもあったのかな

人々は  
夢トワリアの  
中の世界について

現実世界は  
想像して  
いました  
……と

壁の外には  
想像がなかった  
ように

本物の世界なんて  
もう終わって  
ました……と

なーんてな

これが  
本物の現実  
……ってか

一つ外に出たからって  
これが作られた世界  
じゃないなんていう  
保証はないんだよね



こんなストーリーで  
お茶を濁してトンズラ  
するつもりかよ

そうはいくか



この作られた世界を  
あみからずして  
やつがいる

オレたちが  
気付いてない  
とでも思ったか



……よお  
お前だよ  
お前

ずっと  
見てたろ

お前

お前がうだな

お前が  
お前が  
お前が

お前が

お前が

デイス魔トピア 完



標題

コミック/41 VOL.113, 115, 117, 119, 121, 122

出版アクション/発行2014/6/22, 11/22, 2015/1/22, 3/24, 5/22, 6/22(月)

ACTION COMICS

# デイス魔トピア④

2015年8月10日第1刷発行

著者 ———— 黒好

発行所 ———— 赤坂了生

発行所 ———— 株式会社双葉社

〒110-8540 東京都港区赤坂3-15-15  
電話 03-5291-4713 (編集部)  
電話 03-5291-4743 (総機)

編輯 ———— 吉谷昌博 (双葉社でゴジラ社)

印刷所 ———— 笹塚印刷株式会社

製本所 ———— 笹塚印刷株式会社

本書はコピー、スキャン、デジタル化等一切の複製、転載は著作権法上の  
権利を侵害されています。本書を刊行編集者の許可なく複製してネットや  
デジタル化するなどは、たとえ個人や家庭内で利用しても著作権違反です。

© Yoshimi Sato 2011

02042272-8-072-044267-0 020272

WEBではウェブアクション — <http://webaction.jp>  
双葉社ホームページ — <http://www.futaba-sha.co.jp>  
(双葉社の最新・最新ブック・ムックが購入できます。)

■この作品はコピーができません。印刷・複製・転載はすべて著作権者の同意を得る必要があります。

デジタル版 2015 年発行  
製作所 デジタルカタバルト株式会社  
<http://www.digital-catalogue.com>